

健康スポーツ栄養学科

■アドミッション・ポリシー

健康スポーツ栄養学科は、カリキュラム・ポリシーで定める教育内容を全うし、ディプロマ・ポリシーで定める基準に達する見込みがある者として、次のような人物を求める。

知識・技能	●基礎学力として高校で履修するすべての科目の勉学に励んだ者。 ●自然科学や人文科学のみならず、教育学や部活動(課外活動)にも関心を持ち、自主的な活動が行える者。
思考力・判断力・表現力等の能力	●栄養学およびスポーツ科学の知識を身に付けたいと考える者。 ●身に付けた知識を活用して、指導ならびに教育を行いたいと考える者。 ●自らの考え・意見を論理的にまとめ、社会に発信する力を伸ばしたいと考える者。
主体性・多様性・協働性	●栄養と運動(スポーツ)を通して健康づくりに関する企画を立案し、実行したいと考える者。 ●栄養・運動(スポーツ)の両面から、共生社会(生徒・児童・アスリート・高齢者・傷病者・障がい者・災害時・他)に貢献したいと考える者。 ●栄養と運動(スポーツ)を通して、他の職種の人々とともに、国際社会に貢献したいと考える者。

選考方法

自己推薦書	学科独自課題
+	小論文
学科独自課題	入試当日に配布される本学科の説明(特色)を読んで、自身の将来(像)にどう活かせるかと考えるかをまとめなさい。(1000字程度)
小論文 または プレゼンテーション	プレゼンテーション
+	運動パフォーマンス(具体的な内容は下記評価ポイントを参照)
面接	1)基礎体力テスト(パーピーテスト):説明・練習10分、1グループ3分 2)体づくり運動に関する運動プレゼンテーション(実演付):1人2分 ※持参する物:体育館で運動できる服装(体育館シューズ、ウエア等)、飲み物、タオル

評価ポイント

自己推薦書

- ・本学科について広く関心を持っており、さらに深く学ぶ意欲を持っているかどうかを評価します。
- ・将来的なビジョンや夢など、学問に対する熱意があるかどうかを評価します。
- ・自分の学びたい栄養や運動分野への関心や意欲を評価します(特筆すべき活動や経験があればより評価します)。

学科独自課題

- 小論文
 - ・自らがどのような内容に興味をもったのか、なぜ興味を持ったのか、その興味を持った内容について、どのような方法で知識を深めて、将来に活かしていこうと考えているのかを評価します。
 - ・本学に入学後どのようなことを学んでいきたいかを評価します。
- プレゼンテーション
 - ・専門職者として運動指導に必要な基礎体力の他、プレゼンテーション能力として物事を筋道立てて説明できる力、体の動きを実演する力、運動の楽しさが伝えられる表情の豊かさについて総合的に評価します。

運動パフォーマンスの実技内容は以下の通りです。

- 1)体力テスト(30秒):パーピーテスト(持久力、筋力、敏捷性)
パーピーテストとは両足をそろえた状態の直立姿勢からスタートし、次の4つの動作を30秒間全力で繰り返し、その回数を評価します。
 - ①両手を床に付けしゃがむ。
 - ②両足を同時に後方へ伸ばし、腕立ての姿勢をとる。
 - ③両足を引きつけ再びしゃがんだ状態に戻る。
 - ④そのまま垂直に立ち上がり、直立姿勢に戻る。*②で腕立ての姿勢、④で直立姿勢にならないと回数は数えない。
- 2)運動プレゼンテーション:体づくり運動(創造力、表現力)
実生活に活かす運動の計画について事前に1つ考え選んで来てください。以下の評価項目3点を含めて創意工夫した説明をしてください。なお、実演では器具等は使用できません。
 - ①実演
 - ②運動を選んだ理由
 - ③運動の実施方法

面接

- ・面接に必要な説明能力・コミュニケーション能力を評価します。
- ・栄養(食事)や運動(スポーツ)・健康に広く関心を持っているかどうか、さらに深く学ぶ意欲を持っているかどうかを評価します。
- ・高校での活動について評価します。
- ・学科で4年間学ぶ上で必要な基礎能力・知識を評価します。